

防災用品のいろいろ



本庄町自主防災活動協議会

- ・ 簡易トイレ
- ・ 防災リュック
- ・ 保存食（災害備蓄食）
- ・ 消火器
- ・ その他

災害が起きたら 先ずトイレの準備

8月26日（火）大人の寺子屋での防災講座

「災害対策で一番大事なこと」

佐賀県防災士会 柴田旬道 氏

しばたただみち

ご使用方法

1

便座を上げ、便器に汚物袋をかぶせます。



2

便座を下ろし、用便の後に凝固剤をまんべんなく投入します。



3

その後、便器から汚物袋を取出し、開口部を縛ります。



4

汚物袋を臭いを通さない袋に入れて開口部を縛ります。
これで臭いはほとんどありません。



完了



使用方法

1回につき凝固剤1袋を目安にご使用ください。

1



汚物袋と凝固剤を取り出します。

2



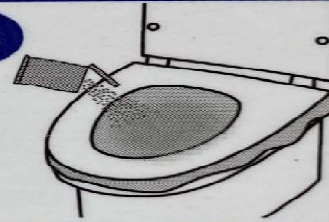
便座を上げて袋を開き、袋の口が便座の外側にくるように被せ入れます。

3



便座をおろし、袋をしっかりと固定します。

4



ご使用後、汚物の上に凝固剤をまんべんなくふりかけます。

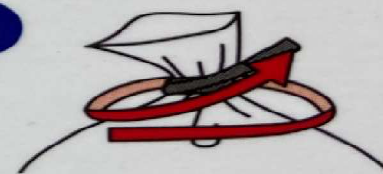
5



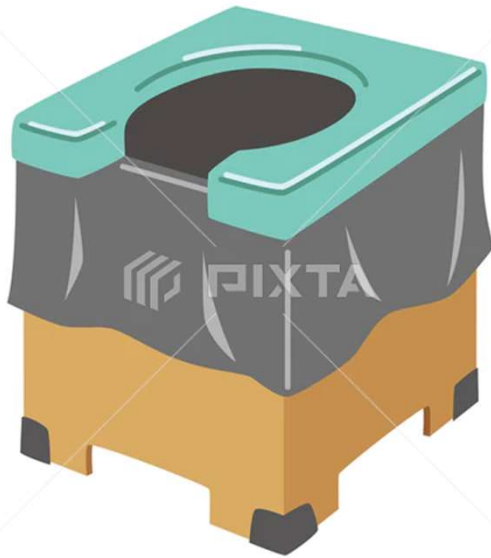
袋の口を中央に寄せる

袋を便器から取り出し、ビニール紐を持ち、袋の口を絞ります。

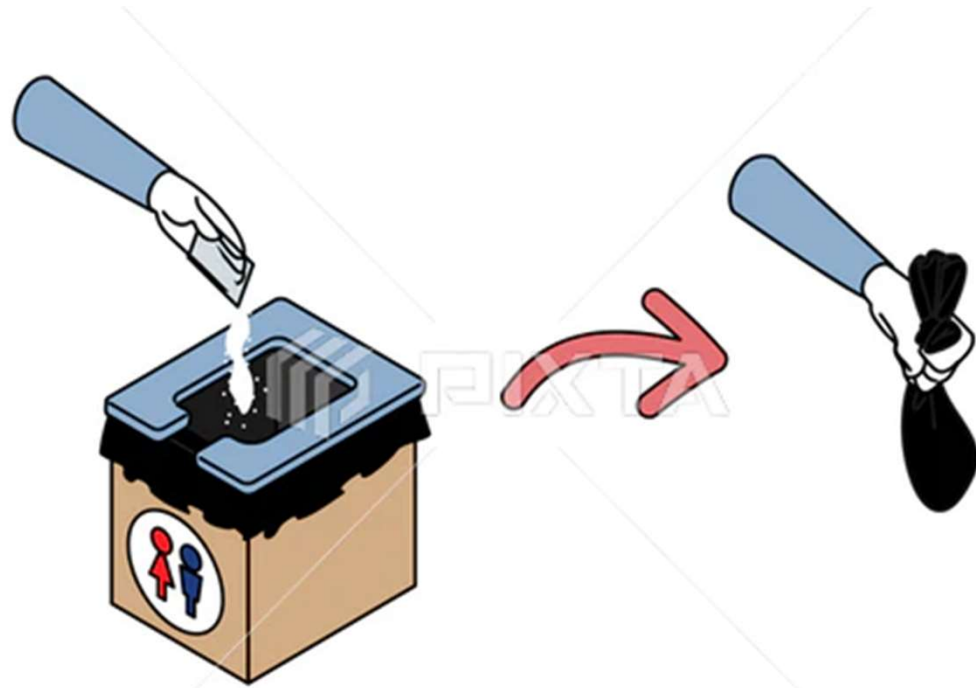
6



ビニール紐は開口部の周囲を1周させて口を絞り、余った紐の部分で固く縛って密閉します。



pixta.jp - 86577229



pixta.jp - 125057292

- 袋の中に吸収シートや凝固剤を入れて、大小便を固めつことができる
- 使用後は可燃物として収集されるまで保管する（市町村の確認が必要）

携帯トイレの使い方に慣れておこう

携帯トイレの使い方

1



**ポリ袋を
便器にかぶせる**

便器内の水で携帯トイレの
袋がぬれるのを防ぐ

2



**便座の上から
携帯トイレ設置**

凝固剤を入れる
(タイミングは製品により異なる)

3



用を足す

4



**臭いが漏れないように
しっかり結ぶ**

災害時のゴミの回収はすぐに来ない

トイレと一緒に 備えておきたいモノたち

トイレットペーパー



1人1週間1ロール消費
「3倍巻き」など便利

ランタン ヘッドライト



両手を空けておけるライトが必要です

45リットルのポリ袋



便器にかぶせる用
レジ袋だと小さい

ウェットティッシュ ペーパータオル



断水で手が洗えない状況に備えて



防災リュック

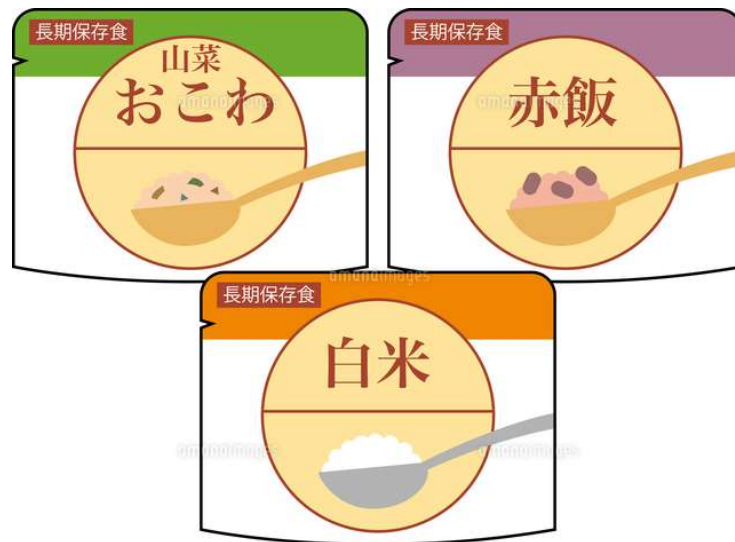




pixta.jp - 122468594

食事	照明	寝具・防寒	移動
ラップ アルミホイル 非常用給水バッグ 5L スプーン・フォーク プラカップ 5個 紙皿 3枚 割り箸 3膳	LED懐中電灯	アルミブランケット アルミシート エア枕	レインポンチョ EVAサンダル ラバー手袋 ポーチ
衛生用品	その他		
携帯トイレ 3個入り 綿棒 20本入り 使い捨て下着 ティッシュ マスク 3枚 歯ブラシ 3本	2WAYドライバー カッターナイフ ホイッスル 圧縮袋 筆記用具セット 防水スマホ袋 ルーペ ポリ袋 3個入り タオル 布テープ お薬ケース		





50食分



消 火 器

Fire extinguisher

ご使用方法



1. 安全栓をぬく

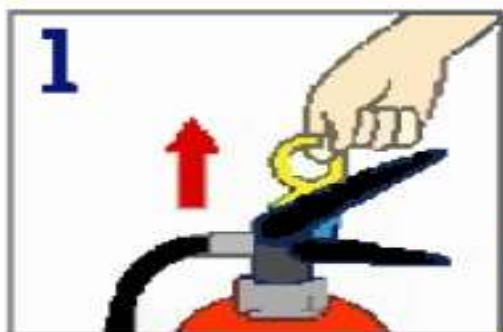


2. ノズルを
火元に向ける



3. レバーを
強くにぎる

消火器（ホースのあるもの）



黄色の安全ピンを
上に
抜く



ホースの先の
ノズルを炎に
向ける



上下のレバーを
握る

住宅用消火器（ホースのないもの）



黄色の安全ピンを
上に
抜く



ノズルを炎に
向ける



上下のレバーを
握る





© 1976, 2014 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No. S544679



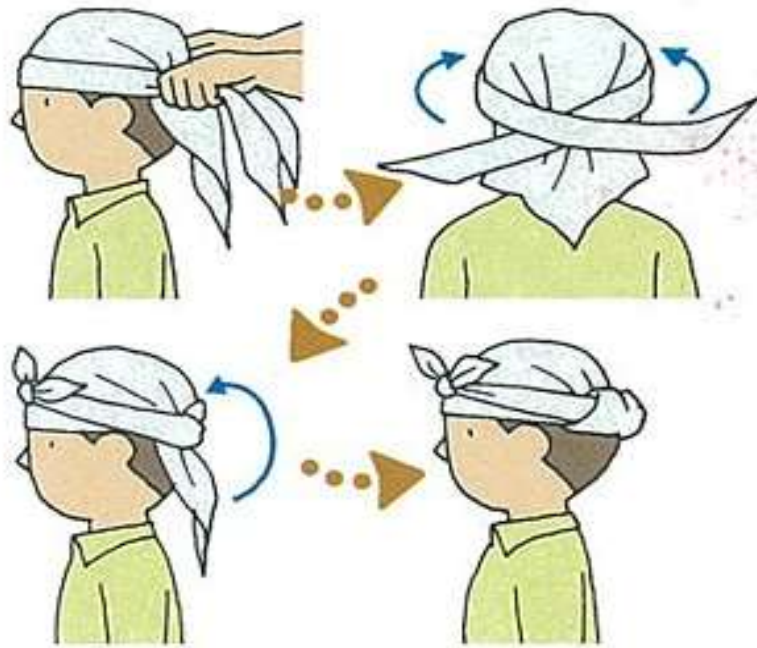


MVF1HAR



MVF1HAG

三角巾の使い方



三角巾の両端を後頭部で交差させ、
前に回し額で結び、頂点を畳み込むよう
にして処理する。



三角巾の使い方

図1

頭頂部の出血



図2

足首のねんざ



三角巾で腕を吊る

三角巾の巻き方

① この向きで三角巾を用意



② 健側の肩から腕の下を通す



③ 患側の腕から患側の肩に通す



肘は約90° 屈曲位で

必要に応じて肘も結ぶ

④ 首の後ろで結んで完成



上腕骨骨折に対する保存的治療



三角巾による固定



簡易デゾー固定





創部保護



固定



保温



手袋

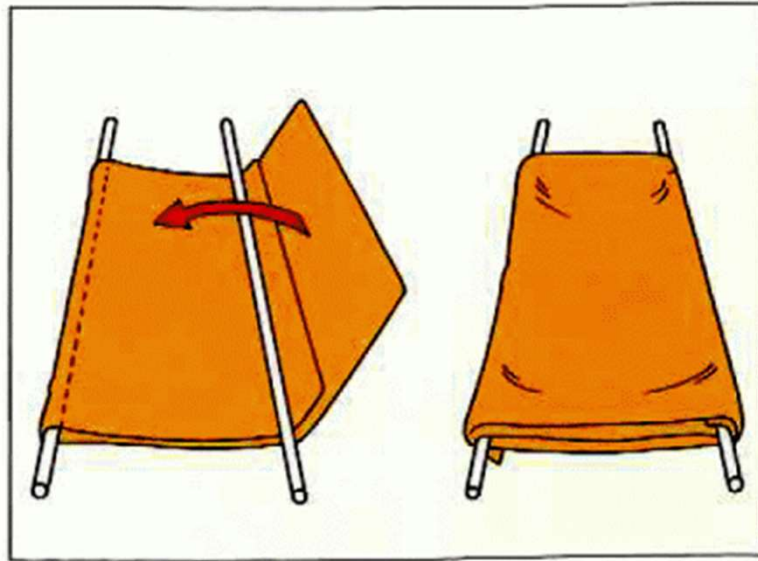


食器のかぶせる



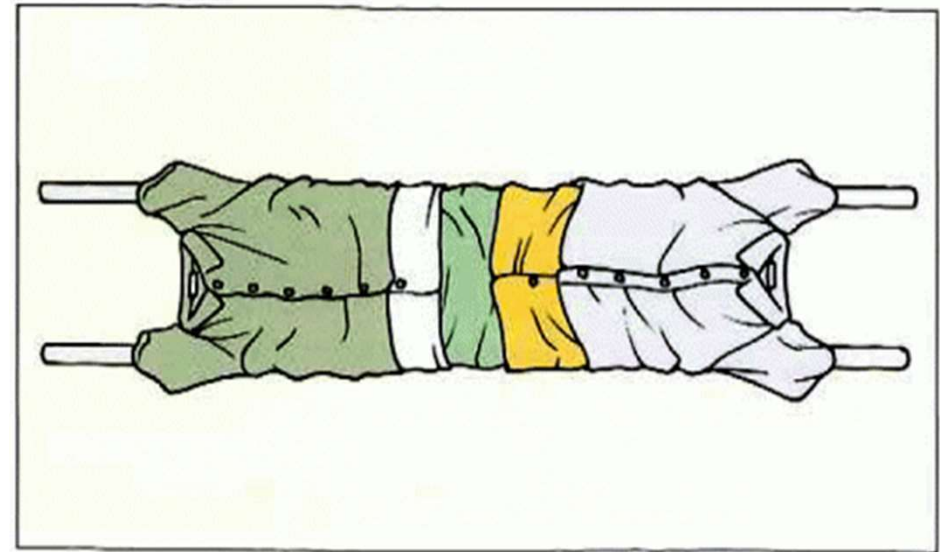
紐として使用

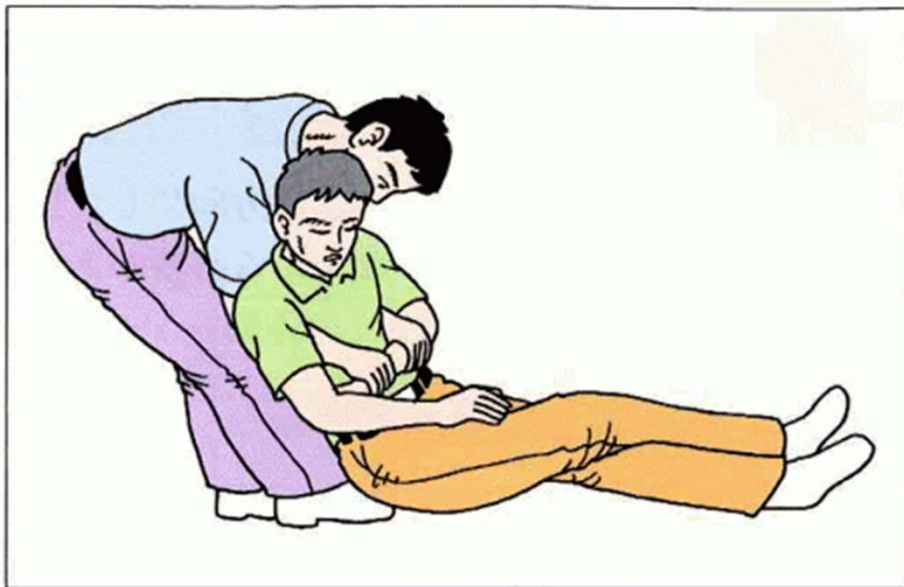
応用担架



毛布を広げ、約**1/3**のところに棒を1本置き、棒を包み込むように毛布を折り返します。もう1本の棒を、折り返した毛布の上に置き、残りの毛布を折り返します。

数枚の上着を用意し、上着のボタンをかけたまま、両そでに棒を通します。

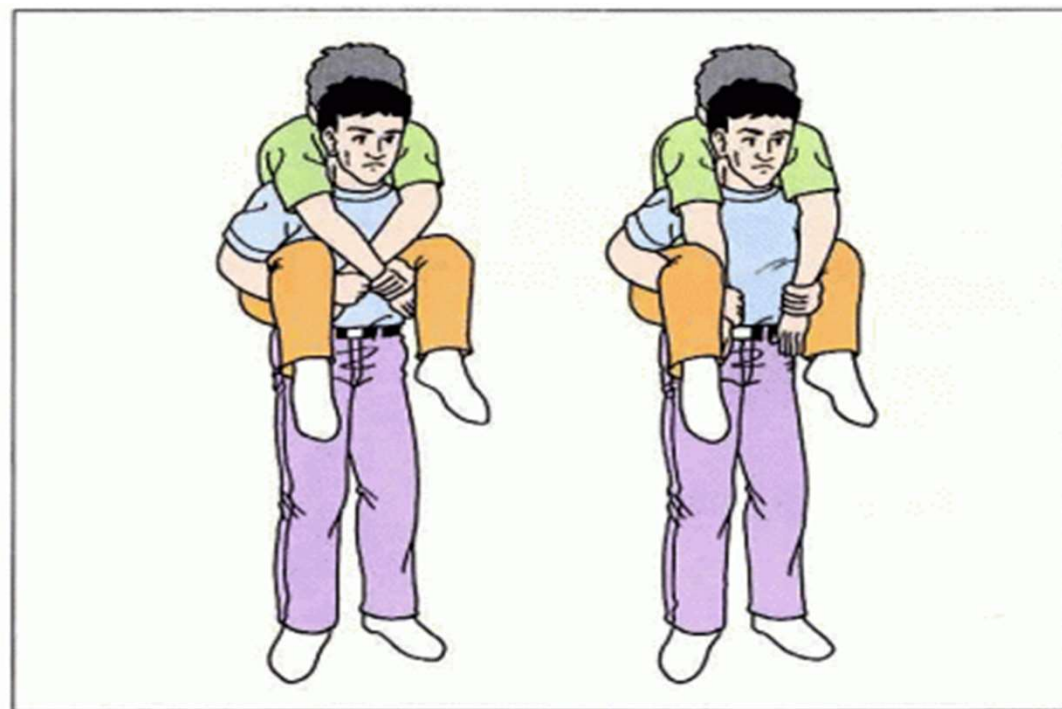




背負って搬送する方法

傷病者の両腕を交差または平行にさせて、両方を持って搬送します。

背部から後方に移動する方法
おしりを吊上げるようにして移動させます。





毛布、シーツを利用しての移動

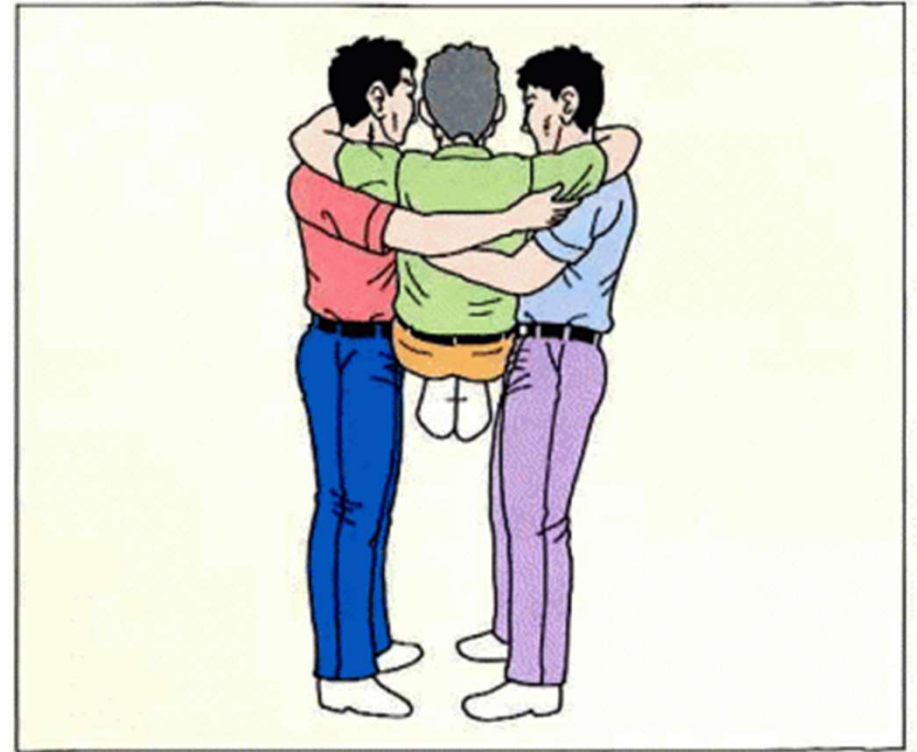
毛布にくるんだ状態で引っ張ります。

(傷病者の胸腹部を圧迫することが多いので
注意が必要)

傷病者の前後を抱えて搬送する方法



手を組んで搬送する方法



- ・ 傷病者の首が前に倒れる恐れがあるので、気道確保に注意します。
- ・ 2 名がお互いに歩調を合わせ、搬送に際して傷病者に動揺を与えないようにします。